

富士ドライケム IMMUNO AU10V 参考基準範囲シート

※基準範囲は検査対象の母集団によって異なります。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と合わせて総合的に判断してください。

検査項目		イヌ	ネコ	測定範囲	単位	項目コード
T4		1.0 ~ 2.9	0.9 ~ 3.7 ^{*1}	0.50~8.00	µg/dL	211
TSH		~ 0.50 ^{*2}	—	0.25~5.00	ng/mL	210
COR		1.0 ~ 6.0 ^{*3}	—	1.0 ~ 30.0 希釈測定の場合 1.0 ~ 50.0	µg/dL	212
TBA	食前	~ 7.9	~ 5.0 ^{*4}	2.0 ~ 150.0	µmol/L	213
	食後	~ 24.5	~ 15.0 ^{*4}			
SAA		—	~ 5.49	3.75~225.0	µg/mL	215
PRG	通常	0.42 ~ 1.46 ^{*5}	—	0.20~40.00	ng/mL	214
	排卵 ^{*6}	3.69 ~ 7.85 ^{*5}				
	妊娠	11.73 ~ 28.24 ^{*5}				
	出産前 ^{*7}	1.54 ~ 3.22 ^{*5}				

*1 M. E. Peterson, C. Melian, R. Nichols, Measurement of serum concentrations of free thyroxine, total thyroxine, and total triiodothyronine in cats with hyperthyroidism and cats with nonthyroidal disease, J. Am. Vet. Med. Assoc., 218: 529-36 (2001) より引用

*2 Tsuchiya R et al. Reference Ranges for Canine Serum Thyroxin and Thyrotropin Concentration Measured by Chemiluminescence Immunoassay, J. Jpn. Vet. Med. Assoc., 59, 331-335 (2006). より引用

*3 Feldman EC, Nelson RW. Canine and Feline Endocrinology and Reproduction, third edition. USA: Saunders; 2003. より引用

*4 Nelson RW, Couto CG (2011)「スモールアニマル・インターナルメディスン 第4版」(長谷川篤彦・辻本元 監訳) インターズー より引用

*5 Ecole Nationale Vétérinaire d'Alfort のAlain Fontbonne教授により本品を用いて決定された結果です。範囲は平均値±SDです。

*6 排卵当日の検体

*7 2日以内に出産した検体

検体種対応表

	イヌ		ネコ		測定検体量
	血清	血漿	血清	血漿	
T4	○	○	○	○	100µL
TSH	○	○	—	—	100µL
COR	○ [*]	○	—	—	100µL 希釈の場合 20µL
TBA	○	○	○	○	100µL
SAA	—	—	○	○	10µL
PRG	○	○	—	—	100µL

■ : 希釈モード測定

* COR血清は通常測定、希釈測定いずれも可能です。

(2021年2月版)

エラー・ワーニング表示一覧

【エラー・ワーニング表示】

測定を開始する前や測定中にエラーが表示された時の測定値は正しくない場合があります。それぞれの対処を参照ください。

液晶表示	対処
E0103 カップ1カクハンキュウインツマリエラー ケンタイワカクニンシテクダサイ	検体のサンプリング中に、詰まりが検出されました。検体にフィブリンが析出している可能性があります。検体のフィブリンを取り除き、試薬カートリッジ、チップ等の消耗品をセットして、測定を最初からやり直してください。 注：再発する場合は、配管系の異常が考えられます。取扱店に連絡してください。
E0105 カップ2カクハンキュウインツマリエラー ケンタイワカクニンシテクダサイ	
E0120 ソウエキエラー ツヨイニユウビノバアイソクテイデキマセン	検体送液の異常です。 1) 検体表面に泡や膜があり検体が正しく吸引されなかった可能性があります。泡や膜があると、誤作動する場合があります。検体表面から泡や膜を取り除いてから試薬カートリッジ、チップをセットして、測定を最初からやり直してください。 2) 検体の強い乳びの可能性があります。乳びが改善してから測定を再開してください。
E0121 ソウエキ1ツマリエラー ケンタイワカクニンゴ カートリッジワコウカンシテクダサイ	検体送液の異常です。 次の対処を行ってください。 (a) 検体のフィブリンを取り除き、試薬カートリッジ、チップ等の消耗品をセットして、測定を最初からやり直してください。 注：再発する場合は、配管系の異常が考えられます。取扱店に連絡してください。 (b) 使用済みの試薬カートリッジを再使用していないか確認してください。
E0205 PM20モーターエラー チューブノジョウタイワカクニンシテクダサイ	消耗品テーブルのセンサーが異常を検知しました。 測定を中止して、チューブの状態を確認後、電源を入れ直してください。 エラーが解消しないときは、取扱店に連絡してください。
E5203 QRコードエラー データフリオウ トリアツカイテンニレンラクシテクダサイ	読み取ったQRコード情報が異常です。 取扱店に連絡してください。
W5206 キシャクエラー キシャクソクテイデキナイコウモクデス	希釈モードで測定できない項目がセットされています。 カートリッジを確認してください。
E6009 チョウコウチエンザンエラー トリアツカイテンニレンラクシテクダサイ	測定値が極めて高いか異好抗体の影響を受けている可能性があります。 測定結果は参考値として取り扱ってください。取扱店に連絡してください。

【その他マーク】

液晶表示	意味
@	測定値が測定範囲から外れています。または、希釈測定において、検体セットが規定時間を超えた。
a/A	測定値が参考値となった。測定値が極めて低い／高いか異好抗体の影響を受けている可能性があります。 測定結果は参考値として取り扱ってください。
D	希釈測定での測定結果です。

下記のエラーが発生した場合、記載の対処を行うことで試薬カートリッジはそのまま使用できます。以下の時間内に対処してください。

- 通常測定開始後、エラーが発生した場合：60分以内
- 希釈（希釈液で測定開始後）でエラーが発生した場合：60分以内
- 希釈（検体で測定開始後）でエラーが発生した場合：10分以内

液晶表示	内容	対処
E0102 キュウインツマリエラー ケンタイワカクニンシテクダサイ	サンプリング中に詰まりが発生	検体のサンプリング中に、詰まりが検出されました。検体にフィブリンが析出している可能性があります。検体のフィブリンを取り除き、チップをセットして、測定を開始してください。 注：再発する場合は、配管系の異常が考えられます。取扱店に連絡してください。
E0112 ケンタイカラキュウインエラー ケンタイワカクニンシテクダサイ	検体表面に泡や膜があった可能性があります。	検体表面に泡や膜が無いか確認してください。泡や膜があると、誤動作する場合があります。検体表面から泡や膜を取り除いてから、チップをセットして、測定を開始してください。
E1013 エキメンエラー ケンタイガオオスギマス	液面範囲上限以上で検出	検体が多すぎます。検体を確認してください。液量が多過ぎます。検体量を吸引可能範囲内であることを確認し、チップをセットして、測定を開始してください。
E1014 ケンタイフソクエラー ケンタイワカクニンシテクダサイ	液面が見つからない	検体の液面が見つからない。検体量が少なすぎる可能性があります。検体量が吸引可能範囲であることを確認し、チップをセットして、測定を開始してください。

詳しくは、取扱説明書6章をご参照ください。